

第9回与論町総合教育会議 議事録

令和7年3月14日

与論町・与論町教育委員会

会 議 名	第9回 与論町総合教育会議
会 議 の 日 時	令和7年3月14日 (金曜日) 午後1時30分から午後2時15分
会 議 の 場 所	与論町役場2階会議室B

出席者

構成員	町 長 田 畑 克 夫
	教 育 長 中 山 義 和
	教 育 委 員 川 畑 こ ず 枝
	教 育 委 員 中 野 貴 志
	教 育 委 員 南 晶 仁
町職員	総 務 企 画 課 長 龍 野 勝 志
	教 育 委 員 会 事 務 局 長 竹 村 栄 作
	生 涯 学 習 課 長 松 村 誠 司
	学 務 課 係 長 佐 藤 愛 子

進 行 教育委員会事務局長 竹村栄作

議 事 録 学務課係長 佐藤愛子

< 会次第 >

1. 開 会

2. 町長あいさつ

3. 協議事項

- (1) 令和6年度行政評価(教育委員会活動の点検・評価報告書)について
- (2) 令和7年度の教育行政方針について
- (3) その他

4. その他

5. 閉 会

■協議事項(1) 令和6年度行政評価(教育委員会活動の点検・評価報告書)について

議題	令和6年度行政評価(教育委員会活動の点検・評価報告書)について
説明	令和6年度教育委員会活動の点検・評価報告書の概要説明(教育委員会事務局長)
協議	<p>(進 行) 説明につきまして、皆様方からご意見ご質問はございませんでしょうか。</p> <p>(町 長) 評価については、ほとんどが3.0以上、4.0も結構いただいているので評価としては概ねいい評価なのかなと。私は、海洋教育がされてから小中高で連携して、特に高校がどこに出してもはずかしくない発表をしているんじゃないかなと。小学校の発表もすごくいいんですけども中学校の発表を聞けばもっとよくて、高校にいくと大人顔負けの素晴らしい発表をしている。与論高校が東京大学とのサイエンスキャンプをする、あれが東京大学を目指す理由となったり。やっぱり出会いや触れ合いが大切で中山教育長もおっしゃったように、小学校や中学校高校で子供たちが伸びていく過程が大事で、教育としては小学校から力を入れていかないといけないけれども、中学校で伸びて高校で伸びてと、しっかりとした自分の目標を設定していければなという考え方です。</p> <p>(教 育 長) ありがとうございます。</p> <p>(進 行) ありがとうございます。委員の皆さんからはありませんか。</p> <p>(中 野 委 員) 評価で2.0点というのは、「教育環境の整備・充実」のところになっていて、予算も厳しい所があると思うんですけど、それに取りかかってくれる業者さんは間に合っているのかとすごく気になっているところです。高校の卒業式のときに校舎の上を見ると剥離していますし、なかなか進めるのも難しいのかなという感じを受けました。那間小学校の方が進んでいますけど。</p> <p>(局 長) そうですね。那間小学校は一時使用校舎を建てることが決まっています。あとは建て替えの方を那間小学校も茶花小学校も進めていきながら色々意見が出てくると思います。</p> <p>(中 野 委 員) ない中で本当に頑張ってるなとすごく感じています。そして間に合わないところも辛いなと感じているところです。</p> <p>(局 長) 茶花は特に建設位置で、とてももめる場所かもしれません。なので早めに検討を進めていかないと。</p> <p>(町 長) 検討委員会を立ち上げないといけないと思っているんですけども、とりあえず今のところは那間の方が先かと。茶花の場合は、その位置でいいのかということもですね。もし大きな地震があつて津波がきたときに影響があるかなと。せめて役場の位置あたりに移動できればということなんでしょうけれど。令和4年度の諮問委員会では3小学校残すべきだということで、当時の出生の数字を見れば50人ほど生まれていたことと、母校に対する愛着が強い委員の人たちもいたようで。でも今、実際20数人の出生で30人生まれないう状況で、これから先どこかで反転して人口増加、少子化が解消されますよと数字が保障されればいいですけど、そこだけは保障できないですね。6年間は使用できる校舎ということなのでその間にまた色々な意見が出てくると思います。</p> <p>(進 行) はい。ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。</p> <p>(全 員) はい。</p>
結論	この内容にて報告します。

■協議事項(2) 令和7年度の教育行政方針について

議題	令和7年度の教育行政方針について
説明	令和7年度の教育行政方針について概要説明(教育長)
協議	<p>(進 行) 説明につきまして、皆様方からご意見ご質問はございませんでしょうか。</p> <p>(南 委 員) 令和7年度の教育行政要覧は今作成中ということでしょうか。</p> <p>(教 育 長) 令和7年度に関しては、4月以降になります。政策的な部分は今のように入れ込んでいきます。組織であるとか人であるとか数という部分については、新年度になって新たに打ち直していくという形になりますので、6月ぐらいに出来上がります。方針としては今のよう形になります。教育の方針については、このような形で進めていくということで言葉では施政方針の中でも町長から伝えていただいたところなんですけれども、それをまた具体的に作って皆さんの方にはお渡ししたいと思います。</p> <p>(進 行) その他ございませんでしょうか。町長からはよろしいでしょうか。</p> <p>(町 長) 最初の所信表明で言った「宝を守る」というところで、ゆんぬふとうばをどうやって残すのかというのは、大人の世界では残っているだろうけれども、どうやったら実用語として生きた言葉で残せるか。3ページにあったように子供たちにゆんぬふとうばの触れ合いをさせたい。児童や生徒たちをみると、与論の言葉を残したいという発言が出てきたから、そういう意識はあるのかなと。そして各島々をみると、奄美大島でも方言を残そうという動きがあって、特に沖永良部島の和泊の女性の方も方言を残して伝えようということをやっている。与論も、使える私たちが使うこともだけれど使わない恥ずかしがる年代も含めて、どうやったら言葉が使えるようになるのかというところをしていけたらと思います。以上です。</p> <p>(教 育 長) ありがとうございます。</p> <p>(進 行) ありがとうございます。</p>
結論	新年度、関係各位との連携のもと見直しを図り作成する。

	<p>(進 行) 年度末の大変お忙しい中、急な御案内でしたがお集まりいただきましてありがとうございました。それでは以上をもちまして第9回与論町総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。</p>
--	---